

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年4月9日
【事業年度】	第95期（自平成20年12月1日至平成21年11月30日）
【会社名】	川上塗料株式会社
【英訳名】	KAWAKAMI PAINT MFG.CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 野村 茂光
【本店の所在の場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 賀来 幸志郎
【最寄りの連絡場所】	兵庫県尼崎市塚口本町2丁目41番1号
【電話番号】	(06)6421-6325(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 賀来 幸志郎
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成22年2月24日に提出いたしました第95期（自平成20年12月1日至平成21年11月30日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正を要する事項がありましたので、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

3【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

（訂正前）

1.～2. 省略

（訂正後）

1.～2. 省略

3. キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動により365百万円の減少、投資活動により13百万円の減少及び財務活動により360百万円の増加となりました。その結果、現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し377百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の減少は365百万円（前連結会計年度は22百万円の減少）となりました。これは主に税金等調整前当期純損失349百万円や仕入債務の減少821百万円、棚卸資産の減少194百万円、売上債権の減少613百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は13百万円（前連結会計年度は99百万円の減少）となりました。これは主に生産設備の維持更新のための投資82百万円及び投資有価証券売却による収入59百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は360百万円（前連結会計年度は270百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純増額250百万円及び長期借入金の借入超過145百万円によるものであります。